

【瑞浪市教育保育研究構想】

瑞浪市の子どもの傾向

- 保育者や友だちの言葉を素直に受け入れることができる子が多い。
- 自らも遊びや環境に興味を持ち、かかわれる子が多くなった。
- またやりたいと繰り返し遊ぶ姿も見られる。
- △生活体験不足から、運動面・生活面で不器用が見られる。
- △生活リズムが整っていないため、意欲の持てない子もいる。
- △自分の思いをどう表現したらよいかかわからない子もいる。
- △心の不安定さから、自ら遊びを見つけれない子もいる。

教育保育目標

**たくましく
思いやりのある子**

願う子どもの姿

- 0歳児：生理的欲求が満たされ心地よく生活できる子
- 1歳児：安心感をもって心地よく生活できる子
- 2歳児：安心できる保育者と好きな遊びができる子
- 3歳児：安心感もち自分でやってみようとする気持ちのもてる子
- 4歳児：友だちと一緒にやってみようとする意欲がもてる子
- 5歳児：一人一人が自分の力を発揮し仲間と共に活動できる子

研究主題

**「やってみたい」「やってみよう」「もっとやりたい」と
夢中になって遊ぶ子**

～子どもと一緒に楽しむ保育を通して、語り合いで深める子どもの捉えと環境作り～

研究仮説

保育者同士が、子どものいいところや楽しんでいるところ、明日に繋がる保育について日常的に様々な場で気軽に語り合うことにより、子どもを多面的に捉え、子どもと一緒に楽しむ保育に繋がるであろう。

さらに、その語り合いを通して捉えた子どもの発達や興味、必要感を基に、その時の子どものつぶやきに耳を傾け、個に応じた環境や援助を工夫することにより、夢中になって遊ぶ子が育つであろう。

研究内容

1 語り合いを通した子どもの多面的な捉え

- ・子どものいいところ、楽しんでいるところに着目して保育を語り合う。
 - ・心に残ったことや感動したこと、明日に繋がる保育について、基本のサイクルを意識して語り合う。
 - ・日常的に様々な場で保育者同士が気軽に語り合うことを意識する。
- 「何に気づき、何を楽しんでいるのかな?」「もっと楽しめるように明日はどうする?」

2 夢中になれる遊びの工夫

- ・子どもの発達や興味、必要感に合った環境を、子どもと一緒に作る。
- ・子どものつぶやきに耳を傾け、環境を広げたり、変化させたりする。
- ・継続して楽しめるように時間、空間、物、道具等を保障する。

3 個に応じた援助の工夫

- ・保育者も一緒に楽しむ中で、その時の子どもの思いを受け止め、共感する。
 - ・援助のタイミングを見極め、子どもの意欲を支えるかかわり方を工夫する。
- (見守り、認め・励まし、声かけ、スキンシップ、一緒に遊ぶ等)

研究方法

- ・年齢別資料研究会
- ・わくわく保育研究会（素材研・動画研等）
- ・園内研究会
- ・未満児交流

大切にしたい保育の基本サイクル

①子ども理解 「今、この子は」

★一人一人を大事に

- ・今、この子は何を感じ、何をしようとしているのか、心の中を探ってみよう。
- ・記録を活用
心に残った事や感動した事を話して（記録して）みよう。そこから見えてくるものは何だろう。
- ・この子が伸びようとしているところを具体的に考えてみよう。

②環境構成 「今、この子に」

★いろいろ考えてみよう

- ・この子の心が動く環境を考えてみよう。
- ・どんなかかわり方がよいか考えてみよう。（人的環境）
- ・どんな場所?どんな素材や教材がいいかな?いろいろ工夫してみよう。（物的環境）

③実践 「今、この子の姿は」

★一緒に遊んでみよう。そこから何が見えるかな?

- ・何に気づき、何を楽しんでいるのか、子どもの表情や言動から捉えてみよう。

④振り返り(捉え直し) 「今後、この子には」

★なぜこの姿が考えてみよう

- ・なにを楽しんでいたのかな?
- ・もっと楽しめるようになるには?
- ・なにが育ってきたのかな?

遊びの中で何を学んでいるのかを
「五領域」「幼児期の終わりまでに
育ってほしい姿(10の姿)」を参考に
確かめてみよう。

①健康な心と体

「遊ぶこと 大好き」
「食べること 大好き」
「運動 大好き」
身体を動かしながら健康で安全な生活を作り出すようになる。

②自立心

「やってみたい」
「できるようになりたい」
「自分で考えるよ」
目標に向かって進み、自分の力でやり遂げようと行動するようになる。

③協同性

「ねえ、一緒にやろ」
「友だちと一緒にやりたい」
友達と一緒に考え、工夫し、協力して遊ぶことを楽しむようになる。

④道徳性・規範意識の芽生え

「友だちっていいな」
「それっていいの?考えてみよう」
相手の心を思いやる気持ちが育ち、やってよいこと、悪いことが分かるようになる。

⑤社会生活との関わり

「“ありがとう”って
言われるとうれしいな」
人と関わる楽しさや人の役に立つ喜びを味わい、社会のつながりに関心をもつようになる。

あそびの中の「学び」
**幼児期の終わりまでに
育ってほしい10の姿**

⑥思考力の芽生え

「ねえ、こんないいこと見つけたよ」
「もっと こうしてみようよ」
新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自分の考えをよりよいものにするようになる。

⑦自然との関わり 生命尊重

「自然 大好き」
「生き物 大好き」
自然に触れて感動する体験を通して、自然を愛し、命あるものを大切にするようになる。

⑧数量・図形、標識、文字等の関心・感覚

「どっちがながいかな」
「ふしぎな かたちだね」
あそびの中で、数や文字等に触れ、興味関心・感覚が高まるようになる。

⑨言葉による伝え合い

「絵本大好き」
「おしゃべり大好き」
「自分の気持ちを伝えるよ」
先生や友達と心を通わせる中で、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

⑩豊かな感性と表現

「あれ?ふしぎ・・・」
「おもしろい!」
「次はどうなるんだろう」
感じたことを自分で表現する喜びを味わい、意欲が持てるようになる。